



プラグインのインストール

- [プラグインの概要, 1 ページ](#)
- [プラグインのインストールのタスク フロー, 2 ページ](#)

プラグインの概要

アプリケーションプラグインは、システムの機能を拡張します。

次のプラグインは、[アプリケーション (Application)] > [プラグイン (Plugins)] メニューから使用できます。

- **Cisco AXL ツールキット**：開発者は、パブリッシャ ノードでプロビジョニング オブジェクトを作成、読み取り、更新、および削除するアプリケーションを作成できます。ZIP ファイルには、SOAP over HTTP/HTTPS を使用して、AXL の要求と応答を送受信するための Java ベースのライブラリが含まれています。
- **Cisco CTL クライアント**：TFTP サーバに保存される証明書をデジタル署名します。このクライアントは Cisco TFTP サーバから CTL ファイルを取得し、セキュリティ トークンを使用して CTL ファイルをデジタル署名し、Cisco TFTP サーバのファイルを更新します。
- **Cisco IP Phone Address Book Synchronizer**：Microsoft Windows Address Book とシスコの個人用アドレス帳を同期させます。
- **Cisco JTAPI クライアント**：Java プログラミング言語で作成されている通信対応アプリケーション向けの標準プログラミング インターフェイスを提供します。
- **Cisco TAPI クライアント**：Microsoft Windows で実行中の通信対応アプリケーション向けの標準プログラミング インターフェイスを提供します。
- **Cisco Tool for Auto-Registered Phone Support (TAPS)**：ユーザは事前設定済みの電話の設定をリモートにダウンロードして、デバイスをプロビジョニングできます。
- **Cisco Unified CM Assistant Console**：アシスタントは自分のマネージャのコールをより効率的に処理できます。Assistant Console は、ログインおよびディレクトリ サービスのために、Cisco Unified Communications Manager IP Manager Assistant (IPMA) サービスに接続します。

- Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool : クラスタで実行中のデバイスのステータス、システムパフォーマンス、デバイス検出、およびCTIアプリケーションをリアルタイムでモニタします。また、RTMT はトラブルシューティングのためにデバイスに直接接続します。

プラグインのインストールのタスク フロー

必要に応じて、次のタスクを実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	プラグインのダウンロード , (2 ページ)	プラグインをダウンロードし、実行可能ファイルまたは ZIP ファイルからのインストール手順に従います。システムをアップグレードした後、すべてのプラグインを再インストールする必要があります。
ステップ 2	プラグイン URL の更新 , (3 ページ)	(任意) ドメイン ネーム サーバ (DNS) が変更された場合は、プラグイン URL を更新します。システムのインストール時に、DNS はプラグイン URL の基礎を提供します。DNS が変更されても、URL は自動更新されません。

プラグインのダウンロード

プラグインをダウンロードし、実行可能ファイルまたは ZIP ファイルからのインストール手順に従います。システムをアップグレードした後、すべてのプラグインを再インストールする必要があります。

はじめる前に

プラグインのインストール先となるサーバで実行されている、侵入検知やウイルス対策などのサービスを一時的にすべて無効にしてください。

手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM の管理から、[アプリケーション (Application)] > [プラグイン (Plugins)] の順に選択します。
- ステップ 2 検索条件を入力するか、またはダイアログボックスを空欄にして、[検索 (Find)] をクリックします。
表示されたウィンドウには、アプリケーションのプラグインに関する詳細情報が含まれています。

- ステップ 3** ダウンロードおよびインストールするプラグインの [ダウンロード (Download)] をクリックします。
また、[ダウンロード (Download)] を右クリックし、[名前を付けて保存 (Save As)] をクリックしてフォルダを選択すると、検索が簡単です。
- ステップ 4** (任意) プラグインが ZIP ファイルの場合、組み込みまたはサードパーティの ZIP プログラムを使用してファイルを解凍します。
- ステップ 5** 実行可能ファイルを実行するか、または必要に応じて、ZIP ファイルに格納された readme ファイルを参照します。
-

次の作業

実行可能ファイルの説明を参照して、プラグインをインストールしてください。

プラグイン URL の更新

ドメイン ネーム サーバ (DNS) が変更された場合は、プラグイン URL を更新します。システムのインストール時に、DNS はプラグイン URL の基礎を提供します。DNS が変更されても、URL は自動更新されません。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理から、[アプリケーション (Application)] > [プラグイン (Plugins)] の順に選択します。
- ステップ 2** [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 3** 更新するプラグイン名をクリックします。
- ステップ 4** [カスタム URL (Custom URL)] フィールドに、プラグインの更新された URL を入力します。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
-

